

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	04	0402	草地更新事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	3	生産基盤の整備			
目的	牧草地の植生改善と生産性向上のため草地更新作業を行う。					
対象	市内の公共牧野、市内畜産農家					
意図	自給飼料を安定的に確保することにより安定した畜産経営ができる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
国の東日本大震災農業生産対策交付金事業（県の補助金名：いわて型牧草地再生対策事業）を利用し、放射性物質の低減及び生産される牧草の風評被害対策、牧草地の植生改善と生産性向上のため草地更新作業を行う。 <input type="checkbox"/> 市内公共牧野の草地更新作業委託 事業対象地 大迫宇瀬水牧野 15.7ha  <input type="checkbox"/> 市内畜産農家の草地更新事業補助金 事業対象地 市内畜産農家 50.8ha（25戸）						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	公共牧野の草地更新面積	ha	計画	23.0	24.5	
			実績	21.0	15.7	
②	市内畜産農家の草地更新面積	ha	計画	29.6	80.0	
			実績	10.9	50.8	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	公共牧野の草地更新作業完了面積	ha	目標	23.0	24.5	
			実績	21.0	15.7	
②	市内畜産農家の草地更新作業完了面積	ha	目標	29.6	80.0	
			実績	10.9	50.8	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/>	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
大迫宇瀬水牧野分については、急傾斜地や天候により作業が遅れ、適期に播種できない事から、牧草が生えてこないリスクを回避することによる面積の減。 市内畜産農家分については、実施希望者が実施するにあたり機械が無い事や耕起困難地（石礫、急傾斜地）である事等による申し出の取り下げによる面積の減。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	東日本大震災大震災による放射性物質の低減と風評被害対策、畜産農家の低コスト経営を支える公共牧野及び自給飼料の草勢維持を目的とする事業であることから妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	風評被害対策と公共牧野及び畜産農家の自給飼料である草地の草勢維持のための手段である。当該事業の実施により公共牧野利用農家の信頼の拡大及び畜産農家の低コスト経営が期待される。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費については標準事業費が定められている。事業費産出・事業申請から補助金交付までの一連の流れに基づき事務を行っている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	公共牧野及び市内畜産農家のうち草地更新実施希望者を対象とした事業であり公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
放射性物質の低減と風評被害対策、牧草地の植性改善と生産性向上のために、草地更新作業を行い、公共牧野の適正な管理を行うことができ、畜産農家は、公共牧野に放牧することで夏場の作業の省力化や空き牛舎への新たな牛を導入するなど低コストな畜産経営が図られた。 また、畜産農家は購入飼料が高騰している今般、自給飼料の確保及び生産性向上のため、草地更新作業を行い、経営の安定が図られた。消費者には安全安心な花巻の畜産物を提供する事ができた。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 小原慶悦 内線 6-290  
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	04	0402	草地更新事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		20,824	30,373		9,549
財源内訳	国・県	10,411	15,186		4,775
	地方債				
	その他				
	一般財源	10,413	15,187		4,774

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 25 年度 ~ 平成 30 年度]
------	----------------------------------------	----------------------------	-----------------------

部重点施策における目標  
農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める。

事業開始の背景・経緯  
放射性物質の低減と生産物の風評被害を払拭するほか、自給飼料を安定的に確保することにより安定した畜産経営を図る。

事業概要  
国の東日本大震災農業生産対策交付金事業（県の補助金名：いわて型牧草地再生対策事業）を利用し、放射性物質の低減及び生産される牧草の風評被害対策、牧草地の植生改善と生産性向上のため草地更新作業を行う。  
○市内公共牧野の草地更新作業委託  
事業対象地 大迫宇瀬水牧野 15.7ha  
  
○市内畜産農家の草地更新事業補助金  
事業対象地 市内畜産農家 50.8ha（25戸）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
公共牧野の草勢を維持しながら牧野利用の拡大を進めなければならない。  
購入飼料価格の高騰により、自給飼料の確保を求める畜産農家から早急に事業実施の要望がある。

《事業手法の詳細》

草地更新事業

- (1) 大迫宇瀬水牧野
- 平成27年度実施面積 15.7ha
  - 風評被害対策としての除染作業
  - 事業主体は花巻市
  - 補助率 「東日本大震災農業生産対策交付金（県の補助金名：いわて型牧草地再生対策事業）」を利用 1/2補助
- 13節 草地除染作業委託料 7,678,800円
- (2) 市内畜産農家
- 平成27年度実施面積 50.8ha（25戸）市内畜産農家
  - 風評被害対策としての除染作業
  - 事業主体は花巻農業協同組合
  - 補助率 「東日本大震災農業生産対策交付金（県の補助金名：いわて型牧草地再生対策事業）」を利用 1/2補助
- 19節 草地更新事業補助金 22,694,067円

